

会 議 記 録			
会議の名称	広報広聴会議		会議場所 全員協議会室 担当職員 数井
日 時	令和5年11月2日（木曜日）		開 議 午前10時00分 閉 議 午前10時46分
出席委員	◎浅田 ○三上（広報部会長） ○富谷（広聴部会長） 法貴 小林 土岐 山木 松山 （欠席：竹内）		
執行機関 出席者			
事務局 出席者	井上局長、数井次長、野澤副課長兼総務係長、田中主事		
傍 聴	可	市民1名	報道関係者1名 議員0名（-）

## 会 議 の 概 要

10:00

### 1 開 議

[事務局日程説明]

### 2 議会活性化の検討について

<浅田委員長>

議会運営委員会における議会活性化の検討項目のうち、広報広聴会議で検討とされた項目について、広報、広聴それぞれの部会で検討を行ったので、項目ごとに、部会から検討結果を報告願う。

[No.2 わがまちトークの復活]

<富谷副委員長（広聴部会長）>

項目No.2「わがまちトークの復活」について検討結果を報告する。令和6年4月から応募先へ照会を行い、同年秋の10、11月頃の開催を予定している。対象は自治会・各種団体とし、市議会だよりや自治会及び団体への訪問等で参加希望者を募る。詳細な内容については、今年度から部会を重ね検討していく予定である。また、ファシリテーション研修については、今年度中に全議員を対象とし、できれば議員団研修として実施していただきたい。

<三上副委員長（広報部会長）>

今年度中にファシリテーション研修を実施いただく考えであることはうれしく思っている。

<浅田委員長>

特に意見がなければ、今の内容で議会運営委員会に報告してよいか。

—全員了—

[No.9 YouTube配信の取組]

<三上副委員長（広報部会長）>

議長の定例記者会見をYouTubeで配信することは、10月10日の議会運営

委員会で決定されたので承知願う。常任委員会のYouTube編集・配信は事務局が行っているが、広報広聴会議委員が技術習得できるよう取組を進める。

<松山委員>

事務局に負担をかけないことは大切であり、このようにまとめていただいた点に感謝する。

<浅田委員長>

特に意見がなければ、今の内容で議会運営委員会に報告してよいか。

—全員了—

## [No.16 委員会等での議事内容の事前告知]

<三上副委員長（広報部会長）>

Facebookでの事前告知は、まず本会議や一般質問から実施することとし、徐々に事前告知する内容を広げていくこととする。また、個人的な意見であるが、報告を発信したときに明日の予定を一緒に載せると手間も省けると思う。

<土岐委員>

その方法がよいと思う。

<松山委員>

一般質問を毎日事前告知すると負担がかかるため、全日程の最初にまとめて載せるなど、やり方は工夫できると思う。

<山木委員>

ストーリー機能も活用していけばよい。

<三上副委員長（広報部会長）>

個人的な意見を発言したので、話が広がることになり申し訳なかった。議会運営委員会への報告としては、本会議や一般質問から始め、様子を見て常任委員会などほかの会議は検討することでよいのではないか。

<浅田委員長>

それでよいか。

—全員了—

## [No.19 市議会ホームページのリニューアル]

<三上副委員長（広報部会長）>

市民目線の見やすさを求める中で、中味について検討することでよい。部会では箕面市のホームページが見やすいという意見があった。リニューアルのチームをつかって考えていけばよい。

<富谷副委員長（広聴部会長）>

広聴部会で検討したところ、スマホなどのモバイル対応がうまくできていない、市ホームページトップの亀岡市議会バナーを今より見やすく掲出してはどうか等意見があった。スマートフォンでもホームページは見られるが、議員紹介のページについて、画面から枠がはみ出すなど見にくい状況にある。また、亀岡市議会バナーの掲出について、市ホームページを開き、スライドしていくと「亀岡市議会」のバナーが出てくるため、トップページへの掲出は難しいと思うが、「一般質問期間中」といったことをどこかに掲載できないか、検討していつてはどうかと思う。市民目線での見やすさの観点からホームページのリニューアルについて、今後、広報広聴会議で調査研究していけばどうかとの結論である。

<松山委員>

広報部会からあった箕面市議会のホームページは分かりやすいと感じるので、広報広聴会議で検討することでよいと思う。

<法貴委員>

知りたい情報がすぐに見つかることが大切であり、市民から常任委員会の会議録が探しにくいとの意見を聞いたので、研究していくべきである。

<浅田委員長>

議会運営委員会への報告としては、箕面市議会など他市事例を参考にリニューアルについて広報広聴会議で考えていくこととしてよいか。

—全員了—

10:17

## 2 広報部会の活動について

<三上副会長（広報部会長）>

12月議会だよりの検討を始めていく。12月は予算決算がないので特集ページをどうするか考える必要がある。広聴部会の活動があれば連携したい。表紙は議会で話題になったことを入れるようにしているので、12月も探してやっていきたい。

<富谷副委員長（広聴部会長）>

9月議会だよりについて、市民から、表紙が花火大会であったので、紙面を探したが特に花火大会の記事はなかったことが残念であったと感想を聞いた。

<松山委員>

同じ意見であるが、花火大会の表紙写真に対して、花火大会の記事はなかったと言われた。表紙と中味の連動は大切であると思う。

<三上副会長（広報部会長）>

9月は決算として、昨年度の花火大会の決算に指摘要望をつけたので、まったく載ってなかったわけではないが、花火大会の写真から今年の大会を連想されることになってしまい、その点が悩ましいところであったと感じている。

10:24

## 3 広聴部会の活動について

<富谷副委員長（広聴部会長）>

今後の予定として、11月12日の日曜日、「食フェスイベント」に合わせて、インタビュー活動を実施したいと考えている。時間は13時30分から15時の約1時間30分を予定しており、インタビュー内容は、「議会を傍聴したことはあるか」「市議会だよりを知っているか」の2点としたい。広報部会の皆様にも協力を願う。

<三上副会長（広報部会長）>

その2つの内容は、議会に対する関心度の確認になると思うが、食フェスに来る人に対する質問として、どこまで深められるか心配である。例えば、傍聴がゼロのとき記事をどうするのか考えはあるのか。

<富谷副委員長（広聴部会長）>

確かに傍聴した人は少ないと予想するが、スマートフォンやパソコンなどインターネットで視聴できることをお知らせしていきたい。

<三上副会長（広報部会長）>

傍聴経験や議会だよりを知っているかは広報活動に係るリサーチでしかなく、議会そのものへの意見を聞くことが広聴活動であると思うので、そういった面からさきほど聞いたインタビュー内容はいかがと思うが、広聴部会で議論して決定されたのであればそれでよい。

<富谷副委員長（広聴部会長）>

質問は切り口であり、回答から中味を膨らませて意見を聞き出していきたい。

<三上副会長（広報部会長）>

こういった活動は事前に議会運営委員会で報告して了承を得ていると思うが、今回はどうするのか。

<事務局次長>

事務局でも相談したが、インタビュー日程が決まっており、それまでに議会運営委員会の予定がないため、広報広聴会議委員長と広聴部会長から正副議長及び議会運営委員会正副委員長に報告いただき、委員会への報告は事後になると考えている。

<三上副会長（広報部会長）>

あまりよくないことだと思うので、今後は順序どおり企画していただくようお願い。

<松山委員>

先ほどのインタビューの内容について、傍聴経験や議会だよりの質問はあくまでもコミュニケーションのツールであり、市民からできるだけ話を聞きだしていただくことが大事であると思っているので、広報部会からも協力をお願いする。

10：41

#### 4 その他

<浅田委員長>

常任委員会のYouTube編集・配信の方法について、事務局から説明願う。

<事務局次長>

常任委員会のYouTube編集・配信について、広報広聴会議委員で技術習得をしていくことを決定いただいたが、まずはどのような作業をしているのかを知っていただくことが一番であると思う。10月24日開催の総務文教常任委員会の動画を編集している風景を動画として作成した。各委員のパソコンとタブレットのメールに送信させていただくので、確認願う。

<浅田委員長>

特になければ、広報広聴会議を散会する。次回は議案送付日になるが、11月20日の月曜日に開催する。

散会 10：46